

令和2年度 第1回竹島問題を考える講座

演題 竹島問題の前提としての「鬱陵島」

江戸時代、現在の竹島は松島と呼ばれ、鬱陵島は竹島と呼ばれていた。鬱陵島は、材木や海産物が豊富で、米子の商人が幕府の許可を得て渡海し経済活動を行った。その際、渡海の目印として、船がかりやアシカ・アワビ漁の好地として利用されたのが竹島である。韓国は、自国領である鬱陵島と竹島の距離が近いことを理由に竹島の領有権を主張し、鬱陵島にある独島博物館には多くの韓国人観光客が訪れるという。今回の講座では、古くから竹島と密接に関係する鬱陵島について理解を深めます。

ながしま ひろき
講師 永島広紀氏

九州大学韓国研究センター教授・第4期島根県竹島問題研究会委員

日時 令和2年8月22日〔土〕 午後1時30分～午後3時
場所 島根県職員会館 多目的ホール（松江市内中原町52）
主催 島根県総務部総務課
定員 45名（受講料無料・先着順）

【講師紹介】

福岡県出身。九州大学大学院人文科学府博士後期課程修了、博士（文学）。外務省専門調査員（在釜山日本国総領事館勤務）、佐賀大学助教授、准教授等を経て現職。専門は朝鮮史学・日韓関係史研究。著書に『植民地帝国人物叢書 朝鮮編』（編集、ゆまに書房）、『戦時期朝鮮における「新体制」と京城帝国大学』（ゆまに書房）他。

【お申し込み方法】 申込期限：令和2年8月21日（金）

下記申込書を「竹島資料室」宛に、郵送またはFAXでお送りください。
電子メールの場合は「第1回竹島問題を考える講座申込」と明記の上、名前と電話番号を送信してください。

【新型コロナウイルス感染症拡大防止の取組とお願い】

発熱や咳・咽頭痛など体調不良の方は受講を控えてください。
受講中は必ずマスクを着用してください。
会場には手指消毒用の消毒液を用意し、定期的に会場内の換気を行います。
定員は会場収容人数の半分以上とし、座席は受講者同士の距離を1m以上保つよう配置します。

【申し込み先・問い合わせ先】

島根県総務部総務課 竹島資料室 〒690-8501 松江市殿町1番地 県庁舎第3分庁舎
〔TEL〕0852-22-5669 〔FAX〕0852-22-6239 〔E-mail〕takeshima-shiry@pref.shimane.lg.jp

キリトリ

令和2年度 第1回「竹島問題を考える講座」申込書		
（ふりがな） 名前		電話番号
次回講座案内 （どちらかに○）	不要・要	<送付先> 〒

※提供していただいた個人情報につきましては、考える講座開催のみに利用します。

会場（職員会館）位置図

